

▲ 株式会社プラネット

消費財流通の情報インフラで企業と人の未来を切り開く ——安全で中立なサービス、標準化したサービスを継続して提供できる技術

ここに
注目!

最新の ICT を武器に公平な標準化を実現させて業務効率をアップ
商流から物流まで幅広く網羅できる可能性を秘めたサービス内容

株式会社プラネットはメーカー、卸売業、資材サプライヤーとの商取引の基幹となる受発注、出荷、請求・支払いなどの EDI サービスを提供している。EDI は Electronic Data Interchange、すなわち電子データ交換で、各企業がコンピュータを通じデータをやりとりすることで、業務の効率化を実現できる仕組みだ。

しかし、精度の高いデータをより多くの取引先と効率よく交換するためには、仕様がバラバラでは使えず、標準化されたデータのやりとりが必要になる。プラネットはこの標準化を軸に、企業間の確実なデータ交換を可能にした企業なのである。

競争と協調で業界全体の成長を支える

プラネットは1985年、ライオン、ユニ・チャーム、資生堂など日用品・化粧品業界の主要メーカーが出資して、日本初の業界特化型の EDI サービスを構築するために設立した。「企業の壁を取り除き、協調して業界標準仕様に合わせる」というプラネットの取り組みは、当時としては先進的だった」と社長の田上正勝氏は語る。

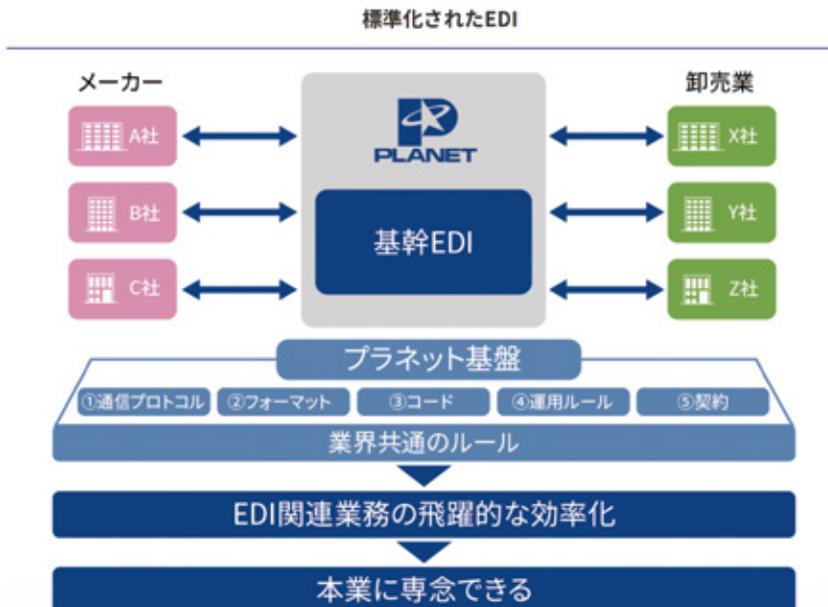
転換期となったのは1997年。業界大手が参加して、データ量は一気に増えた。その後も参加企業は増え続け、現在では日用品・化粧品業界のメーカー・卸売業間のかなりの部分でプラネットの EDI

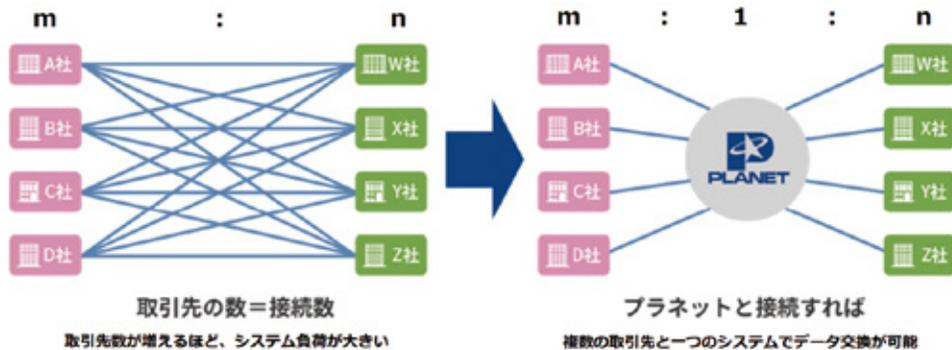
が使われている。業界の壁を越え、ペットフード・ペット用品業界、OTC 医薬品業界にも広まり、取引企業は、2021年8月末までに1453社。消費財流通の情報インフラを提供する企業として、無くてはならない存在となっている。

田上社長は「プラネットは、一社の効率化を追求するのではなく、中立的な立場で全体最適を目指し標準化することで、すべての参加企業が健全に成長できる基盤づくりを行っています。健全な企業間の競争と協調の両方を実現させています」と語っている。

業務の効率化に最適

メーカーは卸売業など取引先と





個別のデータ交換からプラネット利用のイメージ

個別にデータのやり取りを行っているが、その仕様は取引先によってバラバラで、標準化されていないのが一般的だ。EDIの標準化の要件は、プロトコル、フォーマット、コード、運用ルール、契約の5つ。これらの要件を細部まで標準化することで、コンピュータシステム、マスタ管理者、運用担当者の作業負担を軽減し効率的なEDIが可能になる。ある企業の受注部門では約30名いた受注担当者を、たった2名にまで縮小できた事例もある。

最近では大規模自然災害に備えたデータの安全性の確保や、災害時でも安定したサービス提供を実現することが求められている。プ

ラネットは一部地域に震災が起きても、通常業務が継続できるように、データセンターと運用支援を行うコールセンターを二拠点に分散して、安全性を確保している。

物流や新たな業務改革のツールにも

受発注から決済分野で威力を発揮してきたEDI。さらに進歩して、今、注目されているのが物流分野のロジスティクスEDIだ。物流の課題は各企業で異なり、企業のセンターごとにも課題がある。「業界の枠を超えた物流の効率化・最適化を進めることで、ドライバー不足やCO₂削減に役立ち、さらにはSDGsへの取り組み

にも貢献できる」と期待している。特にロジスティクスEDIのデータは、配送状況のやり取りで検品業務などの効率化が期待できる。現場で働く一人ひとりの困りごと、いわゆる「ペインポイント」を解消し、「ゲインポイント」に変えることができると田上社長は考えている。

コロナ禍によりいったんストップしてしまったグローバル化の流れも、これから少しずつ進展し、EDIの重要性はますます高まっていく。創業以来36年を迎えた今、流通業界ではすでになくてはならない存在となったプラネット。今後もその動向が注目されている。

わが社を語る

代表取締役社長
田上 正勝氏



働く人が主役の会社

EDIは基盤となるマシンの進化に対応し、5年ごとにマシンの入れ替えを実施してきました。AIやブロックチェーンなどの最新技術の調査・研究などを通して、常に業界を見据えた技術を取り入れています。こうした進化に柔軟に対応するためには、組織も人も柔軟でなければいけません。人事評価も個人の成長を基準としたものに見直した結果、「新しいことにチャレン

ジしてみよう」という前向きな意識が広がり、新しい取り組みの企画、提案につながっています。私自身も、社員の提案にはノーと言わないように心がけています。また、ワークライフバランスを大切にしている、希望により在宅勤務が可能です。働く人が幸せで成長し続けることが、企業の存続と成長につながるかと信じています。

会社 DATA

所在地：東京都港区浜松町1-31 文化放送メディアプラスビル3階
設立：1985（昭和60）年8月1日
代表者：田上 正勝
資本金：4億3,610万円（東証JASDAQ上場）
従業員数：44名（2021年7月31日現在）
事業内容：EDIやデータベースで企業間取引をサポート
URL：<https://www.planet-van.co.jp/>

